



オリエンタルコンサルタンツは、全国初の民間施設直結スマートIC（インターチェンジ）

商業リゾート拠点に地域課題解決

オリコンサルが計画・設計

（ンジ）を併設した日本最大級の商業リゾート施設「VISION（ヴィゾン）」II写真IIを拠点とした三重広域連携スーパーシティ構想に参画し、地域の社会課題解決に継続的に取り組んでいる。

VISIONは、三重県多気町の約115畝におよぶ広大な敷地に、アクアイグニス、イオンタウン、ファーストアラザース、ロート製薬による合同会社、三重故郷創生プロジェクトが中心となって建設した宿泊施設、温浴施設、商業施設などで構成する大規模リゾート施設。7月20日にグランドオープンした。

オリコンサルは2014年から事業に参画し、基本計画の段階から集客力の向上と施設内交通処理の円滑化を図るため、公共交通基盤インフラと融合した民間開発事業全般にかかるコンサルティンクを実施。特に施設へのアクセス強化と広域的な観光連携、防災力強化などを目的に、民間施設と直結するスマートICの計画から設計、連結許可申請手続きを担うとともに、接続道路となる町道には施設内の速度抑制と安全確保、利便性向上の観点から、2カ所の

公共交通基盤と融合

ラウンドアバウトを計画・設計した。

さらに、広域な施設内を自由に周遊できる新たな移動手段として、自動運転による場内小型モビリティ運用の実現に向け、車道・歩道と独立した場内主要拠点間を結ぶモビリティ専用路も計画・設計している。

同社は今後、三重広域連携スーパーシティ構想に共同で取り組む多気町と大台町、明和町、度会町、大紀町、紀北町の6町と一体となってVISIONを拠点に、AI（人工知能）・ビッグデータなどの最先端技術を活用しながら地域医療、モビリティ、観光振興、エネルギーなど地域の社会課題解決を目指す。